

# 三輪総合男子首位に



## 全日本ジュニアスピードスケート

スピードスケートのJOCジュニアオリンピックカップ第33回全日本ジュニア選手権大会(日本スケート連盟主催)第1回予選、総合男子1500mを先行し、渡部知也(池田高3年)が1分52秒96の大会新記録で2位、中村葵太(駒大苫小牧高1年)が1分52秒48で1位だった。総合女子同種目高橋菜那(白樺学園高1年)が2分5秒77でトップ、高木菜那(帯南高2年)が2分5秒78で2位だった。初日は5種目を行い、総合男子5000mは三輪準也(白樺学園高1年)が37秒06の大会新記録で1位、同3000mは2位の三輪準也が5000mに続き大会新記録をたたき出し、初日の総合得点で首位に立った。

## かちまいスポーツ



今季の全日本選手権を目指す佐々木雅規の豪快なライディング

記録の速報は▼kachimai.mobi  
写真がほしい▼TEL 0120-256-9410

【雪】全日本スノーモービル選手権最上位のビル選手権に参戦中の佐々木雅規(24)はエナジック、清水が、14日から3週にわたって行われる道内3連戦(和寒、士別、美瑛)を控えて、腕を鳴らしている。今季は初戦で自己最高の総合2位に入るなど好調。「確実に勝つような冷静なレース運びでシリーズチャンピオンを狙う」と意気込む。

## 年間王者へ手応え

### あす、道内3連戦初戦

【雪】全日本スノーモービル選手権最上位のビル選手権に参戦中の佐々木雅規(24)はエナジック、清水が、14日から3週にわたって行われる道内3連戦(和寒、士別、美瑛)を控えて、腕を鳴らしている。今季は初戦で自己最高の総合2位に入るなど好調。「確実に勝つような冷静なレース運びでシリーズチャンピオンを狙う」と意気込む。

## 3000mで2位の三輪 発熱で無心に帰る

「普段の滑りをやっと思いつけました。2位とはいえ、三輪準也にとどめて3000mは本来の滑りを取り戻す、大きな意味のあるレースになった。」

先に行った5000mは二人大会の新記録をマークしてトップだったものの、「力は出し切れなかった。力もなかった。滑りではない。力もなかった。滑りではない。力もなかった。滑りではない。」



「スプリント女子5000mは1回目、神谷衣理那は得意の5000mの1回目で大会新記録の40秒04をマークした。」

〇…「昨年のスプリント女子王者・神谷衣理那がまず最初の種目の5000m1回目を40秒04でトップに。」「40秒切りたかっただけで今はこのタイムで満足」と神谷。

先月までは調子が上がらずに苦しんでいたが、今回は「気持ちも楽に滑り、滑りもそんなに悪くなかったと徐々に持ち味の大きな滑りも戻ってきている。」

今季は1学年下の押切美沙紀、永田希絵の2人が成長を

## 積極レースで復活の兆し

「原因として分かっているだけに、表情は暗くない。」「今までの年間チャンピオン争いに加わってみたいだけに、道内で行われる残り3戦が待ちどほしい。14日の第3戦、和寒(上川管内)のコースは、昨年予選で転倒し、後続車にひかれて助走3本を折っている。因縁があるが、実は得意なコース。」「今年、今季は雪が多く、ギャップも深くなる。他人より経験が多いモトクロス技術を生かすこと、スタートでの出遅れが」と、追撃への絶望を吐く。



第1戦で表彰台に立つ佐々木雅規

【総合選手権】  
【男子】▽5000m  
日本ジュニア記録 加藤 条治(三協精機) 34秒75  
大会記録 小林 正輔(明大) 37秒13  
リンク記録 長島圭一郎(日本電産サンキョー) 35秒01  
①三輪 準也(白樺学園高) 37秒06

好の好機とみている。マンのセッティングも万全で、第2戦後、すぐに室蘭のRRS道内で行われる残り3戦が待ちどほしい。14日の第3戦、和寒(上川管内)のコースは、昨年予選で転倒し、後続車にひかれて助走3本を折っている。因縁があるが、実は得意なコース。」「今年、今季は雪が多く、ギャップも深くなる。他人より経験が多いモトクロス技術を生かすこと、スタートでの出遅れが」と、追撃への絶望を吐く。

- ②中村 葵太(駒大苫小牧高) 37・56  
③小田 卓朗(山形中央高) 37・70  
④渡部 知也(池田高) 37・84  
⑤池田 崇将(帯一中) 37・88  
⑥磯 賢汰(帯農高) 37・90  
⑦紺野潤平(白樺学園高) 38・53  
⑧小坂龍(白樺学園高) 4・5・19  
⑨中川敬(帯工高) 4・8・55  
⑩高浪健太(白樺学園高) 4・9・07  
⑪岸田昌也(同) 4・11・39  
⑫森本純哉(専大-白樺学園高) 4・11・41  
⑬村尾亮太(帯南高) 4・12・09  
⑭大島隆宏(帯八中) 4・12・43  
⑮宮浦雅之(帯七中) 4・13・29  
⑯久保沙吾(豊頃中) 4・13・45  
⑰磯 賢汰(帯農高) 4・14・64  
⑱高大大輔(日体大-帯南高) 4・14・72  
⑲岸田昌也(同) 4・15・30  
⑳中山雄登(日大-函館ラ・サール高、帯緑園中) 4・16・17  
㉑小川拓朗(芽室中) 4・16・39  
㉒紺野潤平(白樺学園高) 4・16・56  
㉓戸田真也(同) 4・16・63  
㉔和野駿(池田高) 4・17・64  
㉕野野達哉(白樺学園高) 4・17・76  
㉖宗宮結次(同) 4・17・88  
㉗今泉翔太(帯工高) 4・18・20  
㉘田中康裕(帯農高) 4・18・21  
㉙山澤諒(池田高) 4・19・00  
㉚佐藤裕太(帯農高) 4・19・50  
㉛羽田野一輝(白樺学園高) 4・20・71  
㉜関井翔太(浦幌中) 4・22・99  
㉝今野明星(札内東中) 4・25・30  
㉞佐山和男(池田高) 4・26・07  
㉟松田知記(帯別中) 4・27・22

- ①山田真以(帯三条高) 43・58  
②福地加奈(釧路高高一駒場中) 44・05  
③新田萌(帯農高) 44・07  
④高山夏季(同) 45・37
- 【女子】▽5000m 1回目  
大会記録 大宮小百合(白樺学園高) 40秒46  
①神谷衣理那(白樺学園高) 40秒04  
②押切美沙紀(駒大苫小牧高一中札内中) 40・19
- 〇…「スプリント女子1000mは1回目、最終組の押切美沙紀が向走の神谷衣理那とデッドヒートを演じ、自己ベストの1分20秒45で神谷との0・03秒差の接戦を制した。」「緊張するけど、モチベーションを高く持っているので、一緒に追いつける相手は神谷だから。」
- 〇…「スプリント女子1000mは1回目、最終組の押切美沙紀が向走の神谷衣理那とデッドヒートを演じ、自己ベストの1分20秒45で神谷との0・03秒差の接戦を制した。」「緊張するけど、モチベーションを高く持っているので、一緒に追いつける相手は神谷だから。」



【スプリント女子1000m】0.03秒差の接戦に競り勝ち、リンクサイドの選手らとハイタッチを交わす押切美沙紀

「明日は(40秒を切りたい)と意気込む神谷。一昨年はまだスプリント部門がなかった。」「緊張するけど、モチベーションを高く持っているので、一緒に追いつける相手は神谷だから。」

〇…「スプリント女子1000mは1回目、最終組の押切美沙紀が向走の神谷衣理那とデッドヒートを演じ、自己ベストの1分20秒45で神谷との0・03秒差の接戦を制した。」「緊張するけど、モチベーションを高く持っているので、一緒に追いつける相手は神谷だから。」